

「二十歳のころ」インタビュー

Interview with Atsushi Sakurada ～偉い人間になるな 立派な人間になれ～

日本大学経済学部 加藤恭子ゼミナール 青木 小見山 高宮 中野

○インタビューの御相手

株式会社モスフードサービス 代表取締役社長 櫻田 厚 氏

○インタビューの概要

櫻田社長が20歳を迎えられたのは社会人になってから2年目のことでした。高校時代から働くことが大好きだった櫻田社長は、20歳当時も寝る間や休日を返上して仕事をなさっていたそうです。そして仕事が終われば、先輩に飲みや遊びに連れて行ってもらったなど、色々なことを経験されたようです。

また、20歳になるよりも社会人になったときのほうが環境の変化が大きく、前に勤めていらした広告代理店の営業まわりをやっている中で社会人としてのマナーや常識、社会の厳しさなどを嫌というほど感じたそうです。

20歳当時は将来の目標を持てる余裕はなく、目標を持ち始めるようになったのは、身の回りが落ち着いてきた23歳過ぎあたりで、このころからロサンゼルスやハワイなどに行つて、本場のファストフードをはじめとする外食産業に関する情報を集め、モスバーガーの発展に貢献しようということを強く思いになったそうです。

そして最後に我々を含め、これから社会に出る学生に対してのメッセージとして、4つのアドバイスを頂きました。「1つ目は、資格をたくさん取るよりもまずは自分の武器、得意なことを見つけ出すこと。また、自分自身の性格や性質、個性を見つけて出せるような能力を身に付けてほしい。2つ目は、時間を忘れて一生懸命になれるような事柄を一つだけでもいいから見つけて、これに取り組んでほしい。いろんなものを少しずつ、つまみ食いしても後には何も残らない。3つ目は、いつも人の話を聞くこと。でも単に聞くだけでは駄目で、その聞いた言葉に反応することが大事。さらにその言葉の表面だけでなく、奥まで読み取れるようにしなくてはならない。最後に、いろんな経験をするために、積極的にたくさんの人と会ってほしい。人と会うということは、その人の考え方に触れることができるので、自分の視界を広げ、成長させるチャンスになる。近頃インターネットが普及し、たくさんの情報がありふれているが、こういったものに自分が支配されるようになってはいけない。」

○最後に

インタビューをお願いするにあたっての連絡の仕方から、櫻田社長のお話まで、今回の企画では数え切れないほどたくさんのことを学ぶことができました。特に実際のインタビューでは、我々の質問に対して貴重な経験談を交えながらお話をして頂きました。これらのことは、必ずこれからの我々にとって大きなプラスになることに間違いありません。

このインタビューは、櫻田社長をはじめ、広報室長の後藤賢一氏、株式会社モスフードサービスの沢山の方々の協力により実現できました。文末ながら、心より感謝申し上げます。